

事務事業名		働く婦人の家運営事業		目標設定日	平成28年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	働く婦人の家
	政策	02	雇用機会の充実と安定	係	
	施策	01	雇用機会の促進と安定	内線電話	8241
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	5款	労働費	未計上	
	項	1項	労働諸費	実施期間	
	目	4目	働く婦人の家費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	女性労働者及び勤労者家庭の女性	各種講座に多くの女性労働者等に参加いただく	
現状・課題	30歳未満から80歳代まで、すべての年代の方に参加いただいている。（特に60歳代が多い）幅広い年代の方に参加いただける講座を考えなくてはならない。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市働く婦人の家条例	
事務事業概要	女性労働者及び勤労者の福祉の増進と地位向上を図るため、職業及び家庭生活に必要な相談、指導を行うとともに、職業・生活・健康等に関する各種講座等を行う。		
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	各種講座を開設		講座回数 180回
	運営委員会		年1回
	利用者の作品展・発表会の開催		年1回
	働く婦人の家だよりの発行		年2回

事務インプット	項目		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	予算額	当初予算	円		1,329,000	1,123,000
補正予算		円		0		—
合計		円		1,329,000	1,123,000	1,090,000
決算（見込）額 A			円	1,268,369	1,054,867	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円		72,260	34,020	56,000
	H28は予算額 一般財源	円		1,196,109	1,020,847	1,034,000
職員数	正規職員	人		0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	人		0.50	0.50	0.50
	人件費 B	円		4,381,000	4,381,000	4,381,000
総事業費 A+B			円	5,649,369	5,435,867	5,471,000
市民1人当たりコスト			円	127	123	125

成果指標	アウトカム	平成26年度	平成27年度	平成28年度
講座受講者数	目標	2,200人	2,300人	2,500人
	成果	2,087人	2,613人	—
	目標			
	成果			—
成果指標と目標値の設定理由	総合計画の目標値を達成したいため。			

平成28年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	女性労働者等が希望する講座を開設し、講座受講者数の増加に繋げたい。						

